

親子聖書日課

[日]献金とは不思議なものです。貧しくても主の愛を知ると、感謝に溢れて惜しみなく捧げられますが、富んでいても感謝がなければ、少ししか捧げられません。主は私達のために命までも捧げました。この主の愛に感謝して、精一杯捧げましょう。

[月]献金を扱う会計は、不明瞭にならないため、細心の注意が必要です。ですから、会計奉仕者には「評判の高い」「公明正大」「熱心」「厚い信頼」の人を選びます。その上、正確さや忠実さが必要です。奉仕者が支えられるように、祈りましょう。

[火]献金は種まきと同じで、豊かに蒔く人は豊かに刈り取りますが、少ししか蒔かない人は少ししか刈り取りません。惜しみなく捧げる人は、生活が祝されます。献金袋は「恵みの袋」と言われるように、主の恵みを喜び、精一杯捧げましょう。

[水]人間は、自分の思いのままに生きたいのです。しかし、その思いが、高慢であったり、不従順であったりします。ですから「あらゆる思惑をとりこにしてキリストに従わせ」ることが大切です。主の思いに生きるなら、争いは消え、平和が訪れます。

[木]教会はキリストの花嫁ですから、「キリストに対する真心と純潔」を失ってはいけません。「違った霊・違った福音」を説く、偽使徒は今もいますから、注意しましょう。私達が救われるのは、ただ主を信じるだけです。辛抱強く、福音に生きましょう。

[金]偽使徒は、自分の行いや地位を誇って、信徒を食物にしました。パウロはあえて自分を誇ることによって、偽者を見抜くように勧めました。主を誇れと教えて、自分を誇らない人に聴き従うべきです。但し、自分の弱さは誇ってよいのです。

[土]パウロは病に苦しめられ、「癒して下さい」と必死で祈りましたが、癒されません。その時、主に失望しましたか。いいえ、その弱さの中でこそ主の力が十分に働いたことを知りました。無病息災よりも一病息災です。弱き者を主は用いられます。



NO.1982 2026.9/20-26

名前

	聖書	問題	答え
日	Ⅱコリント 8:1-15	主は豊かであったのにあなたがたのためにどうなられましたか。	
月	8:16-24	主の前だけではなく、人の前でもどのようにふるまうよう心掛けましたか	
火	9:1-15	惜しまず豊かに蒔く人は刈り入れもどうですか。	
水	10:1-18	あらゆる思惑をとりこにして、誰に従わせるべきですか。	
木	11:1-15	キリストに対する何と何からそれてしまうのではないかと心配しましたか	
金	11:16-33	誰かが弱っているなら、私はどうしないでいられるでしょうか。	
土	12:1-10	主の力は何の中でこそ十分に発揮されますか	
感想と祈りの課題			